

第 61 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 4 年 1 月 25 日（火）午後 3 時 05 分から午後 3 時 20 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、山下副知事、古川副知事、企画理事兼商工労働観光部長、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、京都府議会事務局長、教育長、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局長、丹後広域振興局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

- ・京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催します。
- ・本日は、最近の感染状況等を踏まえ、今後の対応について協議いただくこととしています。
- ・それでは西脇知事に会議の進行をお願いします。

【知 事】

- ・まずはこの間、昼夜を分かたず、医療現場の第一線で御奮闘いただいております医療従事者の皆様、本庁をはじめ保健所等の関係職員の皆様に、心から感謝を申し上げたいと思います。
- ・新たな変異株であるオミクロン株への置き換わりが全国で進み、感染が急拡大しています。本日の京都府の新規陽性者は 1622 人と、これまでの過去最高となっています。前週比も 2 倍以上になっており、感染拡大が続いています。
- ・そうした中、先週の 1 月 21 日に大阪府、兵庫県と連携をして、まん延防止等重点措置の適用を政府に要請し、オミクロン株の特性に合わせた有効な措置についても要望をしました。
- ・今日、政府が関西 3 府県も含めて、全国で 18 の道府県にまん延防止等重点措置を適用すべく、一連の手続きに入っています。政府対策本部は夕方ですので、それに諮られることを前提に、今日は対応について議論したいと思います。
- ・まずは、最近の感染状況について、健康福祉部長から報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき報告

【知 事】

- ・続きまして、オミクロン株による感染急拡大への対応について、危機管理監及び健康福祉部長から、それぞれ御説明をお願いします。

【危機管理監】

※資料2に基づき説明

【健康福祉部長】

※資料2に基づき説明

【知 事】

- ・ここまでの説明について、松井議長から御助言をよろしく申し上げます。

【専門家会議議長】

- ・オミクロン株は、確かに、無症状者や軽症者が多く、重症化しにくいと言われていました。しかし、京都府でも、感染者数の増加に伴い、重症者数が着実に増えています。このままのペースで感染拡大が続くと、重症者が急速に増えることが危惧されます。特に、高齢者、基礎疾患をお持ちの方、ワクチンを一度も接種していない方はリスクが高いようです。
- ・専門家会議としても、医療の確保、社会機能の維持の両方の観点から、これ以上の感染拡大を食い止めるために、本日お示しの対応が必要であると考えています。
- ・府民の皆様には、誰が感染しているかも分からない状況を踏まえ、今一度、一人ひとりがうつらない、うつさない取組、行動を徹底するようお願いしたいと思います。私からは以上です。

【知 事】

- ・専門家会議の中でも、医療機関の方から、休まざるを得ず、非常に働き手が不足しているという現状の話がありました。また、救急医療等への影響についての話もありました。感染者数の増大に伴い、当然ながら入院患者、重症者が増えてきます。そこを少しでも食い止めていく必要があると思っていますので、引き続き医師会とも連携しながら、取り組んでいきたいと思っています。
- ・次に、京都市の三科危機管理監から、御意見を申し上げます。

【京都市危機管理監】

- ・感染リスクの高い場面を避けること、最新の注意を払って基本的な感染対策を徹底することを改めて社会全体でやっていく大きな契機になっていると思います。
- ・濃厚接触者になるリスクを自身がいかに避けていくかというのが一番分かりやすい言い方だと思っていますが、濃厚接触者にならないことは努力によってできると思いますので、しっかりと注意喚起をしていきたいと思っています。
- ・また、まん延防止ということで、飲食店の時短要請が行われます。マスクを外す飲食機会を全体としてダウンゾーニングさせ、全体の低減も図っていくものですが、やはり事業者の皆様には御負担をおかけします。事業者の皆様の御理解があつての取組ということで、京都市からも改めて強く、丁寧に協力を呼びかけていきたいと思っています。
- ・それから、オミクロン株への対策を行う上で、重要なテーマとなるのは社会機能の維持です。オミクロン株の特徴に合うように医療、検査、経過観察、それから自宅療養、自宅待機といった保健所業務とも深く関わる対応を強化すると同時に、弾力的、機動的に進化させつつやっていくことが非常

に大事だと思っています。

・このあたりの取組は、状況が日々変化していく中で、対応も変わっていきますので、引き続き連携を密に取り組んでいきたいと思っています。以上です。

【知 事】

・飲食店に対する制限を行うということで、非常に御負担をおかけします。やはり、コロナ対策は、御理解のもとで進めていく必要があります。とりわけオミクロン株の状況に合わせた理解については、京都府、京都市で連携し、説明していく必要があると思っていますので、よろしく願います。

・社会機能の維持も非常に重要ですし、オミクロン株への対応は様々に変化していきます。弾力的、機動的な対応を引き続きよろしく願いたいと思っています。

・その他に、ご意見等がなければ、事務局案によって、まん延防止等重点措置を1月27日から2月20日まで実施しますので、よろしく願います。

・他に各部局からの報告事項がなければ、私から本日の会議について総括をさせていただきます。

・冒頭申し上げましたが、感染の急激な拡大が続いています。やはりオミクロン株は、今までの株とは次元の違うものとして、対応せざるを得ないと思っています。特性、感染力の強さに応じた対策を講じて、感染拡大を抑制し、社会機能の維持を図っていくため、今回まん延防止等重点措置を実施したいと考えています。

・府民の皆様には、この後、私から呼びかけをしますが、関係部局においては、2点について万全の体制で対応をお願いします。

・まず1点目は、特に飲食店等に対しては、非常に多大な御負担をおかけすることになります。確実に実施していただけるように、丁寧な広報、要請、説明をよろしく願いたいと思っています。

・2点目ですが、オミクロン株はデルタ株に比べても、圧倒的に感染スピードが速いです。軽症、無症状が多いと言われていますが、感染者の増加に伴い、病床利用率、重症者の増加が現に起こっており、これからも懸念される場所です。

・まずは府民の皆様命と健康を守ることを第一に、オミクロン株の特性に応じた医療提供体制の整備に至急着手していただきたいと思います。よろしく願います。私からは以上です。

【危機管理監】

・関係の部局長におかれては、先ほどの指示事項を踏まえ、万全の取組をお願いします。

・松井議長、三科危機管理監におかれては、お忙しいところ、御出席いただき、誠にありがとうございました。

・以上をもって、対策本部会議を終了します。